

北大低温研・共同利用研究集会
「マルチプロキシー法による寒冷圏の古気候・古環境研究の発展の方向性」

日時： 2008年7月26日(土) 13:00 ~ 7月27日(日) 12:00

場所： 低温研・講堂

●7月26日(土)

13:00-13:15 中塚 武(北大低温研)

趣旨説明(PAGESの課題と今回の集会の趣旨)

13:15-13:40 多田 隆治(東大理)

近未来予測のための古海洋学

13:40-14:05 川幡 穂高(東大海洋研)

海洋酸性化と大量絶滅-PAGESそしてIODP-

14:05-14:30 原田 尚美(JAMSTEC)

JAMSTEC 海洋観測研究の枠組みにおける古海洋研究

14:30-14:40 (コーヒープレーク)

14:40-15:05 川村 賢二(極地研)

南極ドームふじ氷床コアから探る第四紀の気候変動メカニズム

15:05-15:30 阿部 彩子(東大気候セ)

氷期間氷期サイクルのモデリング:現状と今後

15:30-15:55 入野 智久(北大地球環境)

東アジアモンスーン域から北西太平洋域における古環境プロキシの同時間面分布

15:55-16:20 鬼頭 昭雄(気象研)

PMIP 6ka/21ka 実験における ENSO/モンスーン

16:20-16:30 (コーヒープレーク)

16:30-16:55 井内 美郎 (早大人間科学)

琵琶湖湖底堆積物から得られた地球規模環境変動の記録

16:55-17:20 財城真寿美(首都大都市環境)

東アジアにおける小氷期末期の気候復元にむけたデータレスキュー

17:20-17:45 安江 恒(信大農)

我が国と周辺における年輪気候学

17:45-18:00 中塚 武(北大低温研)

樹木年輪同位体比による広域かつ高分解能の気候変動マッピングの可能性

●7月27日(日)

09:00-09:25 遠藤 邦彦(日大理)

アジア大陸中央部の環境変動

09:25-09:50 藤田 耕史(名大環境)

アジアの山岳コア研究を巡る状況

09:50-10:15 山縣耕太郎(上越教育大)

テフラ火山研究と PAGES との関係, および HITE の研究動向

10:15-10:40 白岩 孝行(地球研)

北太平洋北部の気候・物質循環変動を記録するアイスコア

10:40-11:00 中塚 武(北大低温研)

北太平洋亜寒帯域における生物地球化学(IMBER, SOLAS)と古海洋学(PAGES)の融合

11:00-11:10 (コーヒブレイク)

11:10-12:00 **総合討論**

問合せ先: 中塚 武

TEL: 011-706-5504

E-mail: nakatuka at lowtem.hokudai.ac.jp

(at は@に置換願います)